

きた **くぎかいだより**

No. **281**  
 発行/北区議会  
 〒114-8508  
 東京都北区王子本町1丁目15番22号  
 TEL 03(3908)9948



「春うらら」

## 第1回定例会

○令和3年度予算を可決しました

### 議員提出議案

○新型コロナウイルス感染拡大防止における理美容事業者に対する助成を求める意見書ほか1件を可決しました

### 今回の写真は

第9回観光写真コンテスト「とりにきた。-鉄道部門[観光協会賞]」  
 北区では、写真を通して北区の魅力を再発見し、広く伝えていくため、コンテストを実施しています。  
 他の入選写真は「北区観光HP」に掲載していますので、ご覧ください。  
 ©北区観光ホームページ  
<http://www.kanko.city.kita.tokyo.jp/>

令和3年第1回定例会は、2月24日に招集され、28日間の会期で3月23日に閉会しました。

2月24日、25日の2日間にわたり、11名の議員が財政・福祉・教育・都市問題など当面する区政の課題について代表・個人質問を行いました。

今回、区長から提出された議案等33件、議員から提出された議案等3件、陳情11件を議決しました。

## 281号 目次

代表質問……………	2・3
個人質問……………	4
請願・陳情の結果……………	5
可決した意見書……………	5
令和3年度予算に対する態度…	6
議決した議案等……………	7
議会の動き……………	8
次回定例会案内……………	8

※北区議会では、マスクの着用や会議中の換気、本会議場及び委員会室等へのアクリル板の設置など、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。また、密を避けるために、本会議や委員会等の傍聴者の制限を行うとともに、議員が控室で会議音声を聴取している場合があります。

## 各会派の代表質問



### 予算編成方針に北区の未来を問う

#### 新型コロナワクチン接種を問う

自由民主党議員団

大沢 たかし



**問** 来年度予算は新型コロナ感染症対策として感染拡大防止策、経済活動・区民生活の支援、デジタル化の推進を3つの柱としているが、具体的な取組と方向性について、区の見解は。

**答** 医療提供体制維持、中小企業の事業継続、セーフティネット強化等の予算編成とした。区民の不安解消に努め、更なる利便性の向上を図ることで、基本計画を着実に推進する。

**問** 緊急的な財源対策として、縮小して継続する事業や実施を見合わせる事業等があるが、コロナ収束によっては事業内容により迅速な再開も必要となると考えるが、区の見解は。

**答** 感染収束状況や税収、財政需要の動向等を見極め、財源対策で整理した項目について事業の再開時期等を含め、実施方針を検討する。

**問** 来年度も特定目的基金への積立てができない状況にあるが、学校改築等には多額の経費が必要となる。今後の財政状況によっては、特定目的基金への積立てを検討すべき。

**答** 事業の規模や実施時期等を踏まえ、計画的な対応が必要と認識している。当面、厳しい財政運営を覚悟しているが十分配慮していく。

**問** 北区基本構想策定後、20年以上が経過し、この間の時代背景の変遷や議会からの意見等

を含めて、新構想はこれからの区政運営において、どのような位置付けや想いで、将来像や理念を定めて策定を進めていくのか。

**答** 基本構想は区民の憲章で、新たな将来像や方向性を区民や区議会と共に定め、新たな時代に適合した、誰もが未来に夢と希望を持つことができる北区にしたいと考えている。

**問** 区民は新型コロナウイルスのワクチン接種に強い関心を持っており、具体的な接種時期が明らかでないままでは不安である。接種体制の構築に向けた北区の現在の進捗状況は。

**答** 北区医師会等と、3類型により全てのワクチン接種を区内医療機関で実施する合意を得ており、感染症地域医療体制協議会等を通じて、各医療機関に協力を呼び掛けている。

**問** 接種体制の確保には、接種医や接種医療機関の協力が不可欠とされている。協力体制の確保のためにどのような対策を考えているか。

**答** ワクチン接種に協力していただける医療機関に対しては、支援金を支給して、接種のための施設・機器等の整備を支援していく。

**問** ワクチン接種の予測される副反応に対して、適切に医療上の措置が行える体制の整備は。

**答** 医療機関に、緊急時の薬品・機器や対応マ

ニユアルを配備し、医師会を通じて、緊急時対応の研修会も開催される予定である。

**問** これからワクチン接種が始まるため、リスクを判断するのは困難であるが、ワクチン接種後の経過観察はどのように行っていくのか。

**答** 接種後は看護師による経過観察を行い、副反応の発生に備える。また、副反応対応後の緊急病床を確保し、万全な体制を構築する。

**問** 区では学校内に学童クラブを確保し、放課後子ども教室と連携した運営が行われているが、年少人口の増加等により、学校外に学童クラブを作る事例が出ている。学童クラブの活動場所の確保についての見通しを問う。

**答** 学校施設の有効的な活用や学童クラブと放課後子ども教室の一体運営を更に推進する等、より柔軟な対応が必要であると考えている。来年度中には、健全な活動環境を確保する具体的な方策をとりまとめたいと考えている。

**問** 学校の長期休業中の学童クラブは、お弁当持参が原則である。保護者負担を軽減するため、仕出し弁当利用の対応ができないか。

**答** 今年の夏季休業期間に向けて、事業者のチラシを配布する等、保護者が配達サービスを利用しやすくなるよう取組を進めていく。



学童クラブ活動場所の確保を



### 感染症から命と暮らしを守れ

#### ポストコロナ時代の区政運営

公明党議員団

近藤 光 則



**問** 持続可能な行財政運営のため、将来的な人口減少社会を見通すと、使われなくなる公共施設や再開発計画での公共施設配置等の用地を転換活用して、財政基盤を盤石にする手立てもあると思うが、今後の財政の見通しと区有未利用地の活用について、区の見解は。

**答** 学校施設跡地等の未利用地は、基本計画実現への利活用や財源調達手段として有効活用していく。また、再開発計画等公共施設の再編等を進める際にも、施設等の利活用も検討し、健全で安定的な行財政運営を行っていく。

**問** コロナ禍で最も必要なことは正確な情報の共有であるが、誤情報やデマがSNS等で拡散すると、現実社会に影響を及ぼすインフォデミックが起こりうるため、行政として対応していくことが重要と考えるが、見解は。

**答** 北区ニュースやSNS等の媒体を活用し、区民に対する正確でわかりやすく、かつ状況の変化に即応した情報提供に努め、正しい情報に基づいた冷静な行動を呼びかけていく。

**問** 愛媛の有志がつくった「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動のシトラスリボンプロジェクトは、コロナ禍で生まれる差別や偏見を防ぐことができると考えられるため、

教育現場でも実施すべきであるが、見解は。

**答** 当該プロジェクトを校園長会において紹介し、学校における人権教育の取組の参考とさせていただき、今後も差別意識や偏見の解消を目指した人権教育を推進していく。

**問** 誰も取り残さないデジタル化の推進により、区民サービスを向上させることが重要であるが、具体的な取組は。また、窓口で支払う区有施設の利用料金や延長保育料等のキャッシュレス化を進める必要があるが、見解は。

**答** 行政のデジタル化推進に向けてはオンライン手続きの構築等課題はあるが、着実に推進していく。また、窓口支払いのキャッシュレス化は、他自治体の成果を検証し課題整理を行うと共に、モデル実施を検討していく。

**問** マイナンバーカードはセキュリティ機能評価の国際基準の認証を取得しているが、個人情報情報が洩れ、プライバシー侵害が発生すると主張があることについて、区の見解は。

**答** 安全性については、強固なセキュリティ対策によってプライバシー情報が守られており、安心して利用できると思う。

**問** 赤羽周辺については、再開発エリアだけでなく老朽化した公共施設等も含め、子ども達

の未来のために、安全・安心な教育環境と持続可能なまちづくりが求められるが、見解は。

**答** 未来を担う子ども達の安全・安心な教育環境の整備はもとより、公共公益施設の在り方を含め、まちづくり全体で子ども達の成長を見守り、支援する環境を整えるよう努める。

**問** 2025年問題が迫る中、介護予防・日常生活支援総合事業は地域の身近な事業所での提供が望ましい。普段から通い慣れている整体院等で筋力アップが効率的にできれば認知症の予防等にも繋がると考えるが、見解は。

**答** 今後も介護予防・日常生活支援総合事業の利用者増加は見込まれるため、通いの場等必要なサービスを検討し、高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止の取組を進める。

**問** 政府は脱炭素社会として2050年二酸化炭素排出ゼロの目標を掲げており、区も新年度予算案では脱炭素社会に向けた取組をスタートとしている。これらの目標達成には区民との協働も不可欠であるため、区としてゼロカーボンシティ宣言の表明を求める。

**答** 現在、環境審議会でご審議をいただいているところであり、区議会とも相談しながら、宣言の表明に向けた検討を進める。



シトラスリボン

## 各会派の代表質問



## コロナ禍から区民を守り抜く

## PCR検査の一斉・定期的実施を

日本共産党北区議員団

さがら としこ



**問** コロナ禍での医療・介護施設等への更なる支援強化のため、全額国庫負担で医療機関、高齢者施設等での一斉・定期的なPCR検査が必要と考えるが区の実施の現状と課題は。

**答** 高齢者・障害者施設内で陽性患者が発生した場合の検査対象拡大等、検査の徹底を引続き継続すると共に、国の方針に基づき高齢者等入所施設の従事者を対象とした一斉・定期的PCR検査実施に向けた準備を進めている。

**問** コロナ禍で厳しい経営状況にある医療・介護現場への減収補填と、従事者への手当支給を区として行うことを求めるが、見解は。

**答** 医療機関に各種支援金を交付、介護サービス事業所には特別給付金を支給した。国や都等の動向を注視しつつ、引続き支援を行う。

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種について、区は医師会と連携し、医療機関での接種を基本とする方針であるが、接種場所の確保やその体制はどこまで進んでいるのか。

**答** 接種施設の確保は、現在、感染症地域医療体制協議会等を通じて、各医療機関に協力を呼び掛けており、すべての区民が接種を受けられる体制の確保に努めている。

**問** 緊急事態宣言延長に伴い、影響を受けた事

業者を支援する各種事業の継続や、持続化給付金、家賃支援給付金の再支給を国に求めよ。

**答** 国に対し、特別区長会として持続化給付金等の支援の継続及び拡充を要望した。引続き、国や都へ支援策の継続等を要望していく。

**問** 東京五輪大会の開催は医療従事者の動員が必要になり、コロナ感染による重症者で医療現場は圧迫される。東京五輪大会は中止し、コロナ収束に集中するよう都と国に求めよ。

**答** 東京五輪大会の開催に向け、感染症対策について万全を期すよう特別区長会を通じて、国と都に求めている。安全で安心な大会が実現できるよう国や都等と連携していきたい。

**問** 子ども達の健やかな成長のために、小学校だけでなく、中学校まで少人数学級の実現を急ぐよう、国と都への要請を強める決意は。

**答** 国における議論の動向を注視すると共に、中学校での少人数学級の実現について、国や都へ他自治体と連携して必要な対応を行う。

**問** 国は2022年度から未就学児を対象に国保料の均等割の減免を実施するが、区で軽減を行った場合の対象人数、軽減額、影響額は。

**答** 本年1月時点の加入世帯を基本とした場合、対象人数1,485人、減額の総額は約3,000万円

と見込まれ、影響額は750万円程度となる。

**問** コロナ禍で高齢者の医療費の窓口2割負担を行えば、受診控え等によって、コロナ感染リスクを高めてしまう。長生き一番を目指す北区から反対の意思を表示せよ。

**答** 窓口負担の引上げはやむを得ない選択と受け止めている。窓口負担の在り方は慎重な議論を行い、丁寧な説明等、十分に配慮するよう東京都広域連合を通じて国に要望している。

**問** コロナ禍の下、介護保険料の負担は暮らしに大きな影響を与えている。第8期の介護保険料は基金の活用等で引き下げを求める。

**答** 介護給付費準備基金を活用して、保険料上昇の抑制を図っていく。

**問** 核兵器禁止国際条約発効の年に相応しい平和事業の推進によって、戦争を二度と繰り返してはならないとの決意を発信すべき。また、赤羽台団地の道合遺跡から発掘された戦争遺構等の保存・活用をUR都市機構に求めよ。

**答** 北区平和都市宣言の理念の普及と区民の平和への願いを発信する取組を積極的に行う。道合遺跡については、被服本廠の遺構の一部を今後整備予定のF街区の賃貸住宅エリア内で外構等に活用する予定と聞いている。



赤羽台団地道合遺跡 住居跡



## コロナ禍の北区の諸課題について

## 区民の状況把握とアウトリーチを

立憲クラブ

赤江 なつ



**問** 都内のコロナ感染者の減少幅が鈍化傾向にあり、予断を許さない状況であると都は警戒感を示している。区の保健所、医療現場の逼迫した状況が昨年報道されたが、現状は。

**答** 第3波のピーク越えに伴い保健所業務の逼迫度合いは緩和しつつある。区内医療機関については、入院患者は減少傾向にあるが平常時の体制に戻ったとはいえない状況である。

**問** 路上生活者のために尽力している民間の方と協働したアウトリーチの実施を求めると共に、区民の生活の現実を知り、異なるレベルの困窮に対する適切な対応を要望する。

**答** 自立支援センターにて路上生活者への巡回相談事業を実施している。今後とも、様々な生活困窮の実態把握に取組み、関係機関と連携しつつ適切な支援が届けられるよう努める。

**問** 学校の臨時休業時に子ども達の学習状況を知るため、また、虐待防止等のために児童・生徒と教職員が個別に連絡を取れる手段の構築を求める。また、いつでもオンラインホームルームができるよう備えることを求める。

**答** 教員代表と庁内関係課で構成する検討委員会において、学校と児童・生徒間等における双方向のコミュニケーションができるソフト

ウェアの導入を検討しており、これからのデジタル時代にふさわしい環境構築を進める。

**問** 登校するか自宅学習をするか選択できる選択登校制が大府府寝屋川市等の自治体で始められているが、区の見解を問う。

**答** 選択登校制を導入する予定はないが、国や他自治体の動向を注視し研究する。

**問** 子ども達の心身の健康を守るため、より相談につながりやすくなるようスクールカウンセラーのオンライン予約システム導入を求める。

**答** 心のケアを適切に行うには、相談へのつながりやすさも重要であることから、オンライン予約も含めた手法を研究していく。

**問** 本気でチャレンジ教室等の終了は、自宅学習を1人で進めることが難しい子どもへのサポートを減らしてしまうのでは。定期的に自分で教科書等を開いて学習することはハードルが高いと考えるが、学習アプリをどのように家庭学習に円滑につなげるのか。見解は。

**答** GIGAスクール構想の一人一台端末により、目的・習熟度に合わせた動画教材の活用が可能となる。この推進には生徒への個別のフォロー等が特に導入時に必要だと考える。学習計画を立てて家庭学習に取り組ませる事例等を

周知し、各校が取組むよう働きかける。

**問** 標準服着用で区立小・中学校全校において女子がスラックスを着用できる状況となった。令和2年6月時点で中学校1校のみだったところから大きな変化であるが、区の見解は。

**答** 制服については各校の特色や実態を踏まえ、校長が最終的に決定するものであるが、今後も多様性尊重の観点に沿った各校の対応については校長会と情報交換を行っていく。

**問** 区の人口の4分の1に当たる高齢者の心身の健康維持・向上と認知症対策は急務である。現在の取組状況と課題を問う。

**答** コロナ禍による外出機会の減少等、健康状態の悪化が懸念される。状況に応じた感染症対策を講じながら高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止に努める。

**問** 新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者、医療従事者やその家族に対する偏見や差別、誹謗中傷は、断固として許さないという姿勢を、区長から改めて表明していただきたい。

**答** いじめや偏見、不当な差別は許されないことをホームページや北区ニュースを通じて発信してきたが、引続き、偏見・差別のない社会の実現を目指しメッセージを発信していく。



高齢者対象のご近所体操

## 個人質問



**生活困窮家庭へ新たな支援を  
赤羽台のまちづくりについて**  
自由民主党議員団  
石川 さえだ



**問** スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーについて、コロナ禍で果たす役割の重要性や現在の過重な業務負担を鑑みて、増員すべきと考えるが、見解は。

**答** スクールカウンセラーが不足する場合は、教育総合相談センターの教育相談員を派遣できる体制を整えている。スクールソーシャルワーカーの計画的増員は、今後の財政状況を見ながら引続き区長部局と相談していく。

**問** 生活や子育てに困難を抱える家庭に対して、国の支援対象児童等見守り強化事業を活用し、アウトリーチ型の見守り支援を北区全地域で導入すべきと考えるが、見解は。

**答** 同事業の活用を見据え、来年度中に子ども食堂の団体とアウトリーチ活動等に必要環境について意見交換を始めたいと考えている。

**問** 旧赤羽台東小学校跡地の活用を中心としたまちづくりの進捗について、区とURはどのような土地利用計画をまとめる予定か。

**答** 学校跡地の一部とUR所有地の一体的な活用について基本方針をまとめている。土地利用計画の詳細は、次の建設委員会で報告する。



**コロナに負けないまちづくり  
感染防止対策をより万全に**  
公明党議員団  
すどう あきお



**問** 新型コロナワクチン接種について、北区方式では医療機関での接種体制を前提としている。接種に行くことが困難な高齢者等のためのアウトリーチを含めた手段の検討は。

**答** 接種施設に行くことが困難な在宅療養者のため、自宅で接種を受けることも可能となるよう訪問しての接種を医師会と調整中である。

**問** 昨年12月、水害時の緊急避難先としての都営住宅等の空き住戸使用に関する協定が締結されたが、具体的な運用・取組や課題、今後の展望について聞きたい。

**答** 一般の方と一緒に過ごすことが困難な要配慮者等の避難場所としての活用を考えており、避難者の誘導等が今後の課題と認識している。

**問** 地域猫対策に関し、準備中である連絡協議会を通じたボランティア登録制度を早期に実現することで活動に規律を持たせることもできると考える。実現に向けた課題や展望は。

**答** ボランティアの方々の地域猫に対する考え方や活動の幅に大きな相違があることが課題に挙げられる。地域の課題を順次整理し、地域の中で活動しやすい体制の構築に努める。



**生活保護ためらわず相談を!  
区民と創るコミュニティバス**  
日本共産党北区議員団  
永井 朋子



**問** 生活保護制度について、誰もがためらわずに相談できるよう厚労省等を参考にホームページ等の表現を工夫すべき。また、制度の疑問等にわかりやすく応える等の改善をすべき。

**答** 今年度、厚労省のお知らせを参考にチラシを作成し、関係機関に配置すると共に北区ニュースにも案内を複数回掲載した。ホームページでも工夫し、わかりやすい案内に努める。

**問** 特別障害者手当の実績及び手帳の有無等の現況は。また、障害者手帳の交付時等においても制度の案内をする等、周知を工夫すべき。

**答** 2月1日現在、手当の実績は378人、そのうち手帳所持者は377人。引続き、関係部署等と連携をとり、効率的な制度周知に努める。

**問** 浮間地域へのコミュニティバス新規路線導入に向けた予算が示された。今後、ルートやバス停などの計画策定に向け、地域住民の意見や提案を計画に反映させる場を設けるべき。

**答** 地域公共交通計画案のパブリックコメントを実施し、幅広く意見を頂いた。運行ルートやバス停等の運行計画等作成の際には、関係住民から必要に応じて意見を伺う予定である。



**開発と区立学校の課題解決を  
区民の声を聞く北区政実現を**  
日本共産党北区議員団  
野口 将人



**問** 特定整備路線補助73号線の整備により、十条銀座商店街をはじめ、現在の商店街は存続できなくなるのではないかと。区の見解は。

**答** 商店街の更なる活性化やまちの魅力向上を目指し、既存商店街のにぎわい創出や個店の魅力発信等、できる限りの支援に取組む。

**問** 特定整備路線によって、権利者は生活再建へ様々な課題を抱えている。補助73号線だけで200棟以上の立ち退きが求められる中、生活再建に責任を持つことができるのか。

**答** 現地に都区共同相談窓口を開設し、権利者等の事情に応じた相談等、きめ細かな対応を行っている。権利者等の生活再建が円滑に進むよう、都に対して丁寧な対応を求めている。

**問** 神谷中学校では都の北学園建設工事の為、北運動場を週2日半程度借りて体育の授業等を実施している。校門に近い北運動場南東側出入口を関係者が利用できるようにすると共に学校利用時間の拡大へ調整を行うべき。

**答** 北運動場の南東側出入口を利用できるようにすると共に、令和3年度の学校利用日数を増やす方向で協議・調整を進めている。



**学童クラブに宅配弁当導入を  
飲食店・自宅療養コロナ支援**  
無会派(無所属)  
こまざき 美紀



**問** 仕事や育児等に追われる中、また、コロナ禍で様々な家庭状況がある中での弁当作りは、保護者にとって大変な負担である。長期休業中における学童クラブでの宅配弁当導入の課題は概ね解決できることから、導入を求める。

**答** 今年の夏季休業期間に向けて宅配事業者のチラシを配布するなど、保護者が配達サービスを利用しやすくなるよう、取組を進める。

**問** 緊急事態宣言のもと、飲食店に勤める多くの非正規雇用従業員の生活を守る支援策として、デリバリー代行に係る手数料等の補助や、区役所の敷地等をキッチンカーやテイクアウトの販売場所として提供することを求める。

**答** デリバリー支援は、商店街連合会と共に飲

食店支援について意見交換をしていく。また、販売場所の提供は、東京北区渋沢栄一プロジェクトの推進も視野に入れ、検討していく。

**問** コロナ感染で自宅療養中に亡くなる方も相次いでいる。LINEや電話での健康確認だけでなく、往診や訪問看護の実施を要望する。

**答** 今後、訪問看護関係者等とも連携し、自宅療養支援体制の充実に取組んでいく。



**特殊詐欺被害から区民を守る  
コロナ禍での健康管理を問う**  
無会派(国民民主党所属)  
みつぎ 慎太郎



**問** 北区においても特に高齢者を狙ったオレオレ詐欺等の悪質な特殊詐欺が大問題となっている。特殊詐欺被害について、北区内での過去3年間の被害件数と被害総額は。

**答** 被害発生件数は平成30年が135件、被害総額は約1億9,000万円、令和元年は158件、被害総額約3億3,000万円、令和2年は126件、被害総額約2億7,000万円である。

**問** 区では、特殊詐欺防止の取組として、自動通話録音機の貸出等を行っているが、新たな取組として独自のチラシやステッカーの配布は被害防止に効果的と考えるが、見解は。

**答** 今後も現在の取組を継続しつつ、ご提案も参考に、特殊詐欺被害の撲滅に向け取組む。

**問** コロナ禍の外出自粛によって運動不足に陥り、間食が増え、コロナ太りで悩む区民が多くなっている。区民に対する健康管理や運動習慣の維持に向けた取組を問う。

**答** 健康支援センターでの栄養士と保健師による健康相談等や、スマートフォンのウォーキングアプリ「あるきた」の活用等で区民の運動習慣の維持、健康管理に取組んでいく。



**次世代教育の実現を!  
ウィズコロナ時代の行政へ**  
無会派(日本維新の会所属)  
吉田 けいすけ



**問** GIGAスクール構想の実現に向けて、文部科学省で設定されている各教育目標へのロードマップ等を早急に設定すべき。

**答** 区では北区GIGAスクール構想における基本的な考え方を策定し、教育環境の実現に向けた基本方針を定めた。具体的な取組は検討組織の意見を踏まえ、来年度に策定する。

**問** 一人一台端末の環境が整う今こそ、運営主体の異なる様々な学習支援事業間の連携を見直し、学校との連携等によって学習効果の高い教育施策を実現すべきと考えるが、見解は。

**答** 事業間の引継ぎは、事業目的の違い等によって対応が難しい場合もある為、連携の可能性を検討する。一人一台端末は、一定のルールの下で学習支援事業等での活用を図る。

**問** ウィズコロナ時代の行政について、感染拡大の防止や区民の利便性向上の為に、双方向的な北区公式LINEの活用を推進すべき。

**答** 安全・安心情報等、登録者が受信情報を選択できるセグメント機能の追加を準備している。引続き、区民サービス向上等の観点から、先進自治体を参考に更なる活用を検討する。



## 結果の出た請願・陳情

番号	件名	結果
陳情2第19号	子ども一人ひとりを大切にする、感染症にも強い少人数学級実現のための意見書提出を求める件	不採択
陳情2第24号	子ども一人ひとりを大切にする、感染症にも強い少人数学級実現のための意見書提出に関する件	不採択
陳情2第26号	消費税を緊急に5%に引き下げをを求める意見書提出に関する件	不採択
陳情3第2号	NHK放送受信料の契約・収納業務委託法人とその訪問員による、弁護士法違反の可能性が極めて高い訪問行為を禁止する条例の制定を求める件	不採択
陳情3第5号	子ども一人ひとりを大切にする少人数学級実現を求める意見書提出に関する件	不採択
陳情3第7号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守ることを求める意見書提出に関する件	不採択
陳情3第8号	北区ゼロカーボンシティ宣言に関する件	意見付採択※
陳情3第10号	核兵器禁止条約への批准・参加を日本政府に求める意見書提出に関する件	不採択
陳情3第11号	生活必需サービスである区内理美容業への支援に関する意見書提出等を求める件(第2項)	意見付採択※
	生活必需サービスである区内理美容業への支援に関する意見書提出等を求める件(第3項)	採択
陳情3第12号	「核兵器禁止条約」の日本国の批准を求める意見書の提出に関する件	不採択
陳情3第13号	子ども一人ひとりを大切にする少人数学級実現を求める意見書提出に関する件	不採択

※「趣旨に沿うよう努力すること」との意見が付されました

不採択の理由は、いずれも願意に沿い難いため

## 可決した意見書

## ○新型コロナウイルス感染拡大防止における理美容事業者に対する助成を求める意見書

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、東京都は昨年4月に、理美容事業者など社会生活を維持するうえで必要な施設に対しては、適切な感染拡大防止対策の協力を要請したところであるが、自主的に休業する事業者もあった。こうした状況もあり、4月末には、「東京都理美容事業者の自主休業に係る給付金」が支給された経緯があると認識している。

また、理美容業は感染リスクが高い場所と認識している方がいることもあり、利用者が減少している状況にもある。

さらに、昨年末に都知事が発した年末年始における外出自粛の呼びかけに加え、国が発出した2度目の緊急事態宣言により、年間で理美容店が最も利用されるイベントである成人式は、多くの自治体で延期や中止のほか、オンラインでの開催となり、理美容店を利用しない新成人が増え、その経営は非常に厳しい状況が続いている。

これは、日本政策金融公庫が実施した生活衛生関係営業の景気動向等調査において、理美容業の2020年(10~12月期)の利用者数DIが、前年同期比で理容業は約70%、美容業は約80%の減少があったと報告されていることから見て取れる。

理美容事業者は、利用者と近距離で長時間接するなど高い感染リスクを負いながらも、理容師法・美容師法に定められた消毒や換気を行い、クラスターの発生を押さえつつ、利用者の需要に的確に応えるために事業を継続しており、この理美容業を支援することで、更なる感染拡大防止に寄与するとともに、住民生活の安定化を図ることができると考えられる。

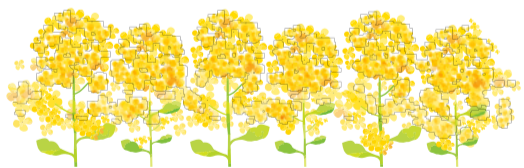
よって、本区議会は東京都に対し、新型コロナウイルス感染症拡大により利用者が減少した理美容業に、自主休業に対する給付金の拡充をはじめとして、安定的な事業運営が図られるよう、更なる助成制度の確立を要望する。

## 区民の要望は請願や陳情として提出できます

## 【請願・陳情の提出方法】

請願・陳情は、議会に対して文書で施策の実現を要望する制度です。請願・陳情ともに形式は同じですが、**請願書には紹介議員の署名が必要**です。

請願・陳情の提出先(あて名)は区議会議長とし、区議会事務局へ提出します。受付は常時行っていますが、定例会の会期中の委員会で審査するためには、事務の手続き上、**会期の初日の4日前**(区役所が休みの日を除く)までに提出する必要があります。



## こんな日程の場合



※陳情の場合、紹介議員は必要ありません。

- 区外に住所を有する個人又は団体から提出された陳情等は、所管委員会に付託せず、参考送付する取扱いとしています。そのため、所管委員会での審査は行いません。
- 請願者・陳情者の住所・氏名は原則公開されます。ただし、特段の理由がある場合には、一般公開資料(H P等)において住所の一部及び氏名を非公開とすることができます。非公開をご希望される方は、請願・陳情をご提出される前に、区議会事務局までご相談ください。

## ○〇に関する請願(陳情)書

要旨  
理由  
※紹介議員  
(署名または記名押印)  
請願(陳情)者(代表者)  
住所  
氏名  
(署名または記名押印)  
電話番号  
年 月 日  
東京都北区議会議長 殿

## 【請願・陳情の審査方法】

請願・陳情は審査し、その内容に議会として賛成できるものは「採択」、賛成できないものは「不採択」とします。引き続き審査すべきと判断した場合には、「継続審査」とします。なお、請願と陳情の審査等の扱いは同様です。

採択された請願・陳情のうち区で取り組むべきものは、議長から区長や、教育委員会をはじめとする行政委員会などの執行機関へ送付します。執行機関は、その後の取組状況について議会へ報告することになっています。

また、請願・陳情の提出者には、その審査結果を通知しています。

## きたくぎかいだよりの音声版を聴くことができます

目の不自由な方向けに作成・配布している、「声のくぎかいだより(デイジー版)」をホームページから聴くことができます。データはMP3ファイルです。

お聴きいただくには、Microsoft社が無償提供するメディアプレーヤーなどの再生ソフトが必要になります。音声データはきたくぎかいだよりの記事を音声化しています。

なお、対象のきたくぎかいだよりは、平成30年発行の、第266号以降のものになります。また、ホームページへの掲載は、準備が整い次第の公開となります。

テープ版及びデイジー版の作成・配布も従来どおり行っていますので、配布を希望される方は区議会事務局までご連絡ください。

◎ご不明な点は、区議会事務局までお問い合わせください。

電話番号(区議会事務局)03-3908-9948

## ◎きたくぎかいだより音声版のアドレスとQRコード

<http://www.city.kita.tokyo.jp/kuse/gikai/kugi-pdf/index.html>



## 令和3年度予算を可決しました

令和3年第1回定例会において、令和3年度予算を審査する特別委員会を設置しました。5日間にわたり審査を行い、最終日に各会派等が予算に対する態度を表明しました。ここでは、その要旨をお伝えします。

## 自由民主党議員団



**一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成**

政府の経済見通しでは、日本経済は総合経済対策の着実な実施等により、来年度中にはコロナ前の水準に回帰することが見込まれているが、先行きのリスクとしてコロナ感染拡大等により、地方財政への影響が懸念される。

新年度予算は内部努力の徹底や基金と起債の効果的な活用等により、区民と共に未来を切り拓く予算となっている。また、感染症対策等の課題への対応やデジタル化の推進など、未来を見据えた取組を中心に新規事業の構築やレベルアップを図っていることは評価する。

また、我が会派が要望した新型コロナウイルス感染症対策、行財政改革の推進に努めたこと、地域産業活性化のため、創業支援策や融資制度の活用・改善を行うと共に区内各種業者への公共事業発注増等による雇用確保策に努めたこと、ファミリー層定住化への少子化対策関連施策を一層推進したこと、医療・介護をはじめ地域と一体となり元気で安心して活躍できる環境整備に努めたこと、道路整備・駅前開発等本格化するまちづくりの一層の推進を図り、安心して安全なまちづくりに努めたことが色濃く反映されており評価する。

なお、コロナ感染症の対策、特に北区方式のワクチン接種の確実な遂行、計画事業の実現、安定的な行財政運営を確保し、デジタル化を推進するなど、区民の新たな時代への要請の対応、経営改革プラン2020の着実な推進、SDGsの実践、多様性社会や脱炭素社会の実現等が求められる中、新北区基本構想策定に向け全庁をあげて取組むことを期待する。

## 公明党議員団



**一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成**

北区基本計画に基づき、持続可能な行財政システムへの変革と質の高いサービスを実現してきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により未曾有の税収減が見込まれており、今後の区政運営が一変すると考えられ、計画事業等の見直しもやむを得ないところである。

令和3年度の予算編成は、財政状況を踏まえつつ、新型コロナウイルス感染症の収束に全力を挙げ、その収束後の税収を見極めた上で基本計画2020の施策実現に向けた取組を基本としている。我が会派が求めた、地震・風水害対策、高齢者就労支援、障がい者支援、保育園等の定員拡大、多胎児支援等や私立幼稚園の保育料補助の拡充、バリアフリー化やシティプロモーション推進等の計上は高く評

価する。区にとって新庁舎建設、魅力ある公園整備、王子・赤羽・十条の駅周辺まちづくり、多文化共生社会への取組、少子高齢化対策等は今後も課題となり、そのための財源確保が大きな命題となる。以下の課題、要望について実現に向けた努力を求める。区内タクシー事業者等をワクチン接種時の移動手段等へ活用。30%プレミアム付き区内共通商品券の発行。生理用品の無償配布。区有施設外の避難施設の利用準備。パートナーシップ制度の導入。子育て世帯への給付金等の対象拡充。赤羽北桜高校と連携した保育・福祉の人材確保。ゼロカーボンシティの早期表明。旧赤羽台東小学校跡地とUR用地の一体活用等に係るバリアフリー化の推進。幼児教育・保育無償化対象外施設の子どもへ月額2万円給付。

## 日本共産党北区議員団

**一般会計予算、国民健康保険事業会計予算及び後期高齢者医療会計予算にいずれも反対、介護保険会計予算には賛成**

新年度予算案において、高齢者施設等の職員への一斉・定期的PCR検査実施等は住民要望の反映として評価するが、以下3点の理由から一般会計予算に反対する。1、区民の命と暮らし、営業を支えるために、更なる積極的な財調基金活用による暮らし応援施策が求められる予算であること。具体的には、減収等となっている医療機関へ、区独自の減収補填等、区内事業者支援が必要である。2、区民の利益に反する行革路線を推進する予算であること。一部施設使用料の値上げのほか指定管理者制度やPark-PFI等の導入は、官製ワーキングプアを拡げるものであり認められない。3、超高層マンションを呼び込む開発政策と住民合意のないまちづくりの姿勢。マンション建設によって急激な人口増になれば、保育需要や教室不足が引き起こされ、日照、風害等の複合的な環境悪化を招く等、環境対策に逆行するまちづくりは認められない。

国民健康保険事業会計予算は更なる保険料値上げ、後期高齢者医療会計予算は保険料の均等割額の軽減措置の見直しにより低所得者への負担増となることから反対する。

なお、以下3点を要望する。1、ひとり親家庭への給付金を児童育成手当支給対象者まで拡大すること。2、パートナーシップ制度の早期実現を目指すこと。3、児童相談所と子育て支援複合施設整備にあつては、基本構想で示されたスケジュールに沿い、基本計画作りと人材育成・確保等の早急な予算措置。

## 立憲クラブ

**一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成**

新型コロナウイルス収束の先行きが見えない中、感染症への積極的対応やICT、教育等の拡充を評価する。また、ここ数年柔軟に活用している財政調整基金を今後も適切に運営されるよう期待する。なお、以下要望する。新型コロナワクチン接種の円滑実施に向けた区民との情報共有や接種優先順位への柔軟な

対応。緊急的な財源対策は、感染状況や財政状況等を見極め事業再開に全力を尽くすこと。セーフティネットとなっている行政サービスはコロナ禍でも極力続けること。非正規雇用の女性、外国籍等の多様な区民の声を聴く取組の推進。パートナーシップ条例を含むジェンダー平等に向けた全庁を挙げた取組。

## 無会派(新社会党所属)

**一般会計予算、国民健康保険事業会計予算及び後期高齢者医療会計予算にいずれも反対、介護保険会計予算には賛成**

新型コロナ対策、長生き支援等、区民の安全・安心に取組む姿勢は評価するが、貧困と格差が広がる指定管理者制度の導入拡大や地域経済への悪影響がある利用料金の値上げは認められない。また、公共の場所である公園で営利企業が利益を得る為の管理を許すPark-PFIの導入や収支率で存廃を決めるコミュニティバスの在り方にも懸念を表明する。

## 無会派(都民ファーストの会所属)

**一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成**

内部努力の徹底等により、財源を確保できたことを評価し、以下要望する。インフルエンザ等対策行動計画等の適宜見直し。ホームページ掲載の統一的ルール等伝わりやすい広報。高齢者が生きがいを持てる暮らしへの支援。GIGAスクールをはじめ子どもたちの教育環境の充実。自転車シェアリング事業の推進。受動喫煙防止対策の推進。更なる財源確保。

## 無会派(日本維新の会所属)

**一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成**

重要性・緊急性の高い事業を中心に限られた資源を各分野に重点的に配分している点については評価し、以下要望する。区長をはじめとした特別職の報酬等の見直し。ROSEの更なる創意工夫等による若手職員の育成と創造的な区政の実現に向けた取組。区内中小企業支援事業の一定程度の統合による分かりやすく使いやすい制度の実現等。



## 予算特別委員会委員名簿 (定数 20人)

◎榎本	—	○いながき	浩
うすい愛子	宇都宮	章	大島 実
小田切かずのぶ	坂場まさたけ	さがらとしこ	
すどうあきお	せいの恵子	戸枝	大幸
永井 朋子	永沼かつゆき	名取ひであき	
野々山 研	花見たかし	福田	光一
宮島 修	山中りえ子	吉田けいすけ	
		◎委員長	○副委員長

## 議決した議案等

会派名等と議員数 自:自由民主党議員団(10) 公:公明党議員団(10) 共:日本共産党北区議員団(9) 立:立憲クラブ(4)  
 無(社):無会派(社会民主党所属)(1) 無(新):無会派(新社会党所属)(1) 無(無):無会派(無所属)(1)  
 無(国):無会派(国民民主党所属)(1) 無(都):無会派(都民ファーストの会所属)(1) 無(維):無会派(日本維新の会所属)(1)

## 第1回定例会

議案名	概要	自	公	共	立	無(社)	無(新)	無(無)	無(国)	無(都)	無(維)	議決結果
区長提出議案等												
東京都北区基本構想審議会条例	北区基本構想の改定を行うことを目的として、区長の附属機関として東京都北区基本構想審議会を設置する	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	東京都北区特別職報酬等審議会の答申に基づき、区議会議員の期末手当の支給月数の引下げを行う	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	東京都北区特別職報酬等審議会の答申に基づき、区長、副区長及び教育長の期末手当の支給月数の引下げを行う	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	東京都北区特別職報酬等審議会の答申に基づき、常勤監査委員の期末手当の支給月数の引下げを行う	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立コミュニティアリーナ条例の一部を改正する条例	東京都北区立豊島北コミュニティアリーナ及び東京都北区立新町コミュニティアリーナのアリーナの使用料を改定する	○	○	※	×	○	○	×	○	○	○	可決
東京都北区体育館条例の一部を改正する条例	東京都北区赤羽体育館にランニングステーションを新設し、その使用料を定めるほか、東京都北区滝野川体育館の競技場等の使用料を改定する	○	○	※	×	○	○	×	○	○	○	可決
東京都北区行政財産使用料条例の一部を改正する条例	租税特別措置法の一部改正に伴い、延滞金の割合の特例に係る規定を改める	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区奨学資金貸付条例の一部を改正する条例	租税特別措置法の一部改正に伴い、違約金の割合の特例に係る規定を改める	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	租税特別措置法の一部改正に伴い、延滞金の割合の特例に係る規定を改める	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
(仮称)北区立都の北学園新築工事請負契約	契約相手：フジタ・サンエス・ニットクメンテ建設共同企業体 契約金額：59億3,647万5,600円	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	可決
特別養護老人ホーム上中里つつじ荘大規模改修工事請負契約	契約相手：本不二・田嶋建設共同企業体 契約金額：6億9,924万8,000円	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	可決
特別養護老人ホーム上中里つつじ荘大規模改修電気設備工事請負契約	契約相手：株式会社ワーデン 契約金額：4億5,870万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別養護老人ホーム上中里つつじ荘大規模改修給排水衛生設備工事請負契約	契約相手：アネス株式会社 契約金額：3億5,750万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別養護老人ホーム上中里つつじ荘大規模改修空調設備工事請負契約	契約相手：アネス・倉持建設共同企業体 契約金額：5億4,450万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
建物の処分について	旧北区立滝野川第六小学校の建物を売却する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立滝野川北保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人つぼみ会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
令和2年度東京都北区一般会計補正予算(第7号)	歳入歳出予算：47億2,315万1,000円の減 繰越明許費：9件 債務負担行為：5件の追加 特別区債：6件の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度東京都北区国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算：12億8,183万5,000円の減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度東京都北区介護保険会計補正予算(第4号)	歳入歳出予算：1億572万円の減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度東京都北区後期高齢者医療会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算：1億3,070万9,000円の減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度東京都北区一般会計予算	歳入歳出予算：1,539億8,200万円 債務負担行為：18件 特別区債：5件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度東京都北区国民健康保険事業会計予算	歳入歳出予算：351億9,017万5,000円 債務負担行為：1件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度東京都北区介護保険会計予算	歳入歳出予算：315億9,445万6,000円 債務負担行為：1件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度東京都北区後期高齢者医療会計予算	歳入歳出予算：89億4,260万4,000円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令の廃止に伴い、新型コロナウイルス感染症の定義を改める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区手数料条例の一部を改正する条例	食品衛生法施行令の一部改正に伴い、食品衛生法に基づく営業許可の申請に係る審査手数料に係る規定等を改めるとともに、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行令の一部改正を踏まえ、建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料等の金額区分を改めるほか、規定の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区国民健康保険条例の一部を改正する条例	国民健康保険の保険料率の改定等を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区介護保険条例の一部を改正する条例	介護保険料率の改定等を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の一部改正に伴い、指定居宅介護支援等の事業の基本方針に係る規定を改める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、指定介護予防支援等の事業の基本方針に係る規定を改める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、指定地域密着型サービスの事業の一般原則に係る規定を改める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、指定地域密着型介護予防サービスの事業の一般原則に係る規定を改める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区副区長選任の同意について	依田園子氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案等												
東京都北区議会会議規則の一部改正について	欠席の届出について規定するとともに、請願の届出について規定するほか、規定の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
新型コロナウイルス感染拡大防止における理美容事業者に対する助成を求める意見書	意見書の内容については、5ページの「可決した意見書」をご覧ください	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
「第21号議案 令和3年度東京都北区一般会計予算」、「第22号議案 令和3年度東京都北区国民健康保険事業会計予算」及び「第23号議案 令和3年度東京都北区介護保険会計予算」の組み替えを求める動議	感染防止とワクチン接種に尽力する医療機関を支えるとともに、区民の暮らしと区内事業者の経営・営業を支援する緊急対策を講じるため、財政調整基金8.2億円余を活用した予算の組み替え及び第8期介護保険事業計画における介護保険料を引き下げるために、介護保険会計予算の組み替えを求める	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	否決
議案名	概要	自	公	共	立	無(社)	無(新)	無(無)	無(国)	無(都)	無(維)	議決結果

議長は表決に加わりません

○：賛成 ×：反対 ※：1名欠席

# 議会の動き

## 12月

**15日 議会情報PR委員会**  
 ・きたくぎかいだより280号について

## 2月

**4日 企画総務委員会**  
 ・令和3年北区区政功労者表彰について  
**都市ブランド推進特別委員会**  
**【視察】**  
 ・「渋谷×北区 青天を衝け 大河ドラマ館」について  
**【委員会】**  
 ・視察のまとめ

**12日 議会運営委員会**  
 ・本会議の運営についてほか

**16日 全員協議会**  
 ・議案の説明及び質疑

**24日 本会議**  
 ・代表質問ほか  
**正副委員長会**  
 ・新型コロナウイルス感染防止に係る委員会運営について

**25日 本会議**  
 ・個人質問、議案の付託ほか

## 3月

**1日 区民生活委員会**  
 ・請願・陳情審査  
 最低賃金の改善を求める意見書提出に関する陳情ほか  
 ・所管事務調査  
 東京都北区立コミュニティアリーナ条例の一部を改正する条例ほか  
**文教子ども委員会**  
 ・請願・陳情審査  
 子ども一人ひとりを大切にする少人数学級実現を求める意見書提出に関する陳情ほか  
 ・議案審査  
 東京都北区立滝野川北保育園の指定管理者の指定について  
 ・所管事務調査  
 東京都北区奨学資金貸付条例の一部を改正する条例ほか

**2日 健康福祉委員会**  
 ・請願・陳情審査  
 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守ることを求める意見書提出に関する陳情  
 ・所管事務調査  
 令和2年度東京都北区一般会計補正予算(第7号)ほか

**建設委員会**  
 ・所管事務調査  
 令和2年度東京都北区一般会計補正予算(第7号)

**3日 企画総務委員会**  
 ・請願・陳情審査  
 消費税を緊急に5%に引き下げをを求める意見書提出に関する陳情ほか  
 ・議案審査  
 東京都北区基本構想審議会条例ほか  
 ・ブロックプラン  
 仮称芥川龍之介記念館新築ブロックプラン(新築計画図)について

**4日 議会運営委員会**  
 ・議案審査  
 東京都北区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例  
 ・本会議の運営について

**本会議**  
 ・議案の議決

**5日 予算特別委員会**  
 ・総括質疑、議会費

**9日 予算特別委員会**  
 ・総務費、産業経済費、公債費、諸支出金、予備費

**11日 予算特別委員会**  
 ・福祉費、衛生費

**12日 予算特別委員会**  
 ・環境費、土木費、教育費

**16日 予算特別委員会**  
 ・一般会計歳入、各特別会計歳入歳出、補足質疑、討論、採決  
**議会運営委員会**  
 ・追加予定議案の取り扱い及び全員協議会の開会についてほか

**17日 十条まちづくり特別委員会**  
**地域開発特別委員会**

**19日 都市ブランド推進特別委員会**  
**防災対策特別委員会**  
 ・請願・陳情審査  
 荒川大洪水時における浮間地区のマンション・大規模な団地での垂直避難の推進や、水害用備蓄倉庫設置の検討に関する陳情

**22日 議会運営委員会**  
 ・本会議の運営についてほか

**23日 全員協議会**  
 ・追加議案の説明及び質疑  
**本会議**  
 ・議案の議決ほか

**区民生活委員会(本会議休憩中)**  
 ・所管事務調査  
 東京都北区国民健康保険条例の一部を改正する条例

**健康福祉委員会(本会議休憩中)**  
 ・所管事務調査  
 東京都北区手数料条例の一部を改正する条例ほか

**建設委員会(本会議休憩中)**  
 ・所管事務調査  
 東京都北区手数料条例の一部を改正する条例

**企画総務委員会(本会議休憩中)**  
 ・議案審査  
 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例ほか

**議会運営委員会(本会議休憩中)**  
 ・本会議の運営について

**議会運営委員会(本会議終了後)**  
 ・第1回臨時会及び第2回定例会の日程についてほか

## 次回定例会のお知らせ

令和3年第2回定例会は、6月14日(月)から6月24日(木)までの11日間の会期の予定で開かれます。いずれの会議も午前10時開会予定です。

6月15日(火)の本会議は都合により開会されない場合があります。開会の有無については、区議会事務局までお問い合わせください。

6月	14日(月)	本会議
	15日(火)	本会議
	17日(木)	区民生活委員会 文教子ども委員会
	18日(金)	健康福祉委員会 建設委員会
	21日(月)	企画総務委員会
	23日(水)	議会運営委員会
	24日(木)	本会議

※第2回定例会で審査する請願・陳情の提出締切日は、6月8日(火)です。

### ○議会放映をJ:COM東京北(ケーブルテレビ)でぜひご覧ください

第2回定例会本会議の代表質問の様子をJ:COMチャンネルで録画放映します。

#### 放映予定日時

6月20日(日)  
 午後6時～[4時間程度]  
 6月21日(月)～6月24日(木)  
 午後8時～[1時間程度](再放送)

## きたくぎかいだより No.281

編集：議会情報PR委員会

発行：東京都北区議会

〒114-8508 北区王子本町1-15-22

☎：03(3908)9948

FAX：03(3908)0600



区議会の活動は、北区のホームページでもご覧になれます。

北区議会